

# 職業能力チェック

職程・職務	情報システム
レベル	レベル3 スペシャリスト
レベルの目安	情報システム業務における高度な専門的知識と技能を有し、社内の中心として業務を遂行及び、後進を指導できる能力水準

【評価の基準】  
○： 一人でできている  
（下位者に教えることができるレベルを含む）  
△： ほぼ一人でできている  
（一部、上位者・周囲の助けが必要なレベル）  
×： できていない  
（常に上位者・周囲の助けが必要なレベル）

Ⅰ 共通能力ユニット		
企業倫理とコンプライアンス		
能力細目		チェック
諸規程、諸ルール の遵守	担当部門の諸規定、マニュアル等の立案もしくは策定指導を行っている。	○
	企業人としてのプロ意識、社会的責任感、職業倫理を有し、周囲の模範となるような行動をとっている。	△
	率先してルールや倫理規程に沿った行動をとるとともに、下位者がこれらに反する行動をとっている際には的確に是正指導している。	△
	セクハラ、パワハラなど、自分のもつ職務上の権限が周囲のハラスメントにつながることはないよう細心の注意をもって行動している。	○
	自社のコンプライアンスに影響を与える関係法令の施行や改正動向に気を配り、その内容を見据えたうえで行動している。	○
倫理的問題の解決	担当業務の結果が社会経済に及ぼす影響を考慮し、それが法令や公共の利益と矛盾する場合には、たとえ大きな成果が期待できる場合であっても着手を見送っている。	○
	個人情報の漏洩、不正取引、クレーム隠しなど職場における潜在的な諸問題の発生リスクを想定し、回避策を講じている。	○
	事故、不祥事の発生など不測の事態に直面しても冷静な現状分析と判断を行い、適切な問題解決を図っている。	○
	自己の経験や能力を超える判断が求められる場合には、適宜、経営層など上位者の支援を得ている。	○
関係者との連携による業務の遂行		
能力細目		チェック

能力細目		チェック
チームワークの発揮	部分最適でなく全社最適の視点から、率先して他の組織長等との連絡調整を行い、協力体制を構築している。	○
	必要なタイミングや順番で、事前調整や関係者への説明を行い、社内コンセンサスの構築を推進している。	○
	自組織だけでは解決できない組織横断的課題に対し、社内関係先との調整をスピーディに行って解決策を見出している。	△
周囲との関係構築	社内外のキーパーソンと本音で交渉できる信頼関係を構築している。	△
	社内のみならず社外に対しても幅広い人的ネットワークや情報収集ルートを構築している。	△
	下位者に対して人的ネットワークを拡大するための場やノウハウを提供するなど、組織全体としての情報収集力や人的ネットワーク構築力の向上を図っている。	△
リーダーシップの発揮	周囲に明確なビジョンを示して自ら率先行動するなど、組織メンバーの目標達成に向けたモチベーションを喚起している。	△
	各人の能力と適性に鑑み効果的な業務分担を行うことで、やる気を引き出しながら全体最適を実現している。	△
	会議や打ち合わせにおいて議論をリードし、下位者に対して指示・依頼事項等を明快な形で伝えている。	○
	組織メンバーへは分け隔てなく情報をオープンにし、組織全体の一体化を高めている。	○

#### 課題の設定と成果の追求

能力細目		チェック
課題・目標の明確化	事業環境を見極め、優先的課題や中長期的な重要課題等の洗い出しを行い、これをブレイクダウンして業務目標を設定している。	○
	目標達成のための複数のアプローチを提示し、不測の事態が発生した際のオプションも含めて業務計画を策定している。	○
	単に現状を追認するのではなく、「本来どうあるべきか」という問題意識から挑戦的な課題設定を行っている。	○
	下位者に対して、その能力と適正に合致した課題・目標の設定を助言、指導、決定している。	○
進捗管理の推進	目標設定当初と異なる事態が発生した場合には、当初案に固執することなく環境変化を踏まえて優先順位を柔軟に判断し、目標とスケジュールの最適化を実現している。	○
	仕事の進め方そのものを変革するための具体的なアプローチを下位者に明示するとともに、自らもそれを実践している。	○

	組織内の定期ミーティング等を通じて業務全体の進捗管理を行い、スケジュールに深刻な遅れが生じる前に必要な対策を講じている。	○
成果へのコミットメント	得意なフィールドを拡張することのみならず、前例のない未知の領域に果敢にチャレンジしている。	○
	強い意志や意欲を周囲に示し、組織の中で課題達成の求心力となっている。	○
	既に確立しているやり方を踏襲するだけでなく、新しい方法を取り入れるなど、ブレイクスルーへの工夫を常時行っている。	○
	下位者の成果評価に際して、結果だけに拘らずそこに至るプロセスも把握し、的確な助言・指導を行っている。	○

## 業務効率化の推進

能力細目		チェック
改善すべき業務の分析	全体最適の視点をもって、組織内の業務全体について問題点や改善の余地を分析している。	○
	仕事の進め方のみならず、組織風土や暗黙のルールなど幅広い範囲で変革の必要性がないか検討・分析している。	○
	他組織の関係者の意見も取り入れながら、多面的に業務改善や効率化のための分析を進めている。	○
	全体業務の効率化やコストダウンの観点から、アウトソースの可否など改善に向けた業務分析を行い、実行している。	○
	同業他社の業務の進め方がある程度把握し、常にベンチマークすることで効率化策を策定している。	○
業務効率化の推進	業務効率化に向けた組織横断的な取組みを推進するなどリーダーシップを発揮している。	○
	不要な業務や有効性を失った仕組み・手続等について改廃を決断し、実行している。	○
	過去の成功事例・失敗事例の共有化を図るなど、組織全体の生産性向上のための仕組み作りを行っている。	○

## Ⅱ 選択能力ユニット

### 情報システム専門

能力細目		チェック
	情報システム部門長と意思疎通を図りながら、会社の競争優位を確立する情報戦略の立案、システム化の全体計画、個別計画の策定等を行っている。	△

情報システムの企画・計画	ITの動向、競合各社の情報戦略に関する情報を体系的に収集・分析し、これに基づき自社の情報システム化計画を策定している。	○
	前例や慣行にとらわれることなく、斬新なアイデアで情報システム諸施策の企画立案を行っている。	○
	複数の業務計画間の調整を図りながらその最適化を実現している。	○
情報システム業務の推進	情報戦略策定やシステム化計画策定のための体系的な情報収集や調査分析を実施もしくは指揮している。	○
	システム開発プロジェクト等において、ITベンダ、システムインテグレータ、ソフトウェアハウス、システムコンサルタント等を目的に即して効率的・効果的に活用し、プロジェクトを成功に導いている。	○
	情報システム関連で前例のない問題が発生した場合には、自らの専門知識に基づき迅速に解決を図っている。	○
	システムの構築、運用等に関し、部門長と連携して委託先等と折衝を行い、会社の利益を損なうことなく交渉をまとめている。	○
	部下や後輩に対して情報システムをめぐる専門的・体系的な実務指導を行っている。	○
情報システム業務の検証と評価	期初の方針や目標に照らして所管する業務全体の達成状況を評価し、次期に向けた課題とその解決策を抽出している。	○
	担当する情報システム業務の問題点を整理し、経営層や総務部門長に提言して具体的なアクションに結び付けている。	○

	合計
○の数	40
△の数	9
×の数	0
○△×の合計数	49

## ●必要な知識

### <情報システム専門>

- 経営戦略と情報化戦略（情報技術、経営戦略と情報が戦略、ITガバナンス、モニタリング・コントロールと内部統制）
- 情報化活用技術（情報の収集・整理・活用、PCソフト・ネットワークの活用、関連法規（不正アクセス防止法、個人情報保護法等））
- ITソリューションの選定・活用（情報システムの種類、ITソリューションの調達方法、ITソリューションの活用）
- システム化計画及び設計・開発（業務の分析・評価・改善、システム化計画の立案、開発計画と開発体制、システム設計の進め方、システム開発における業務（プロジェクト管理、契約管理等））
- システムの運用・管理

